ボーリング柱状図

調　査　名　一級河川太田川水系桐原川支川22　通常砂防事業に伴う業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	1	3	2	6	4	3	2	0	0	1

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	広島県広島市安佐北区可部町桐原	北緯	34° 31’ 47.2187″	
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成29年10月12日～平成29年10月12日	東経	132° 31’ 34.2633″	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH 113.41m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 西 270° 90° 東 180° 南	地盤勾配	10° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D-0	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	5.00m								エンジン	ヤンマーNFD80型	ポンプ	東邦BG3C型

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進 掘進月日	掘進速度 cm／時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l／分	排水量 l／分
	113.11	0.30		表土	灰褐						現河床堆積物。粘性土分を多く含み，φ1cm程度の花崗岩礫や木の根を含む。																	
	112.61	0.80		礫混じり粘土質砂	灰褐						土石流堆積物。最大φ7cm程度の角礫を含む。GL-0.60～0.80m間に花崗岩礫が多く，GL-0.75mでは礫に草の根が張り付くようにして混入している。																
1	112.41	1.00		粘土質砂	暗灰						細～中砂主体。																	
2						E	VI		ε		風化花崗岩。GL-1.00～2.00m間は岩級区分DL～DM級相当。GL-2.00～5.00m間はDM～DH級相当。岩芯まで風化し，長石は粘土化している。		D		1.15	30/30										
3				花崗岩	黄灰～褐			d		2	GL-1.45～3.70m間は酸化により一部赤褐色である。				1.45											
4						D	V		δ		GL-3.4m以深，亀裂に沿って風化が進行し，幅1mm程度の粘土の脈が確認される。				2.15	50/12										
5	108.41	5.00											D		2.27											
6															3.05	50/10										
7															3.15											
8															4.00	50/8										
9															4.08											
10															5.00	50/7										
															5.07											